

2020年11月の行事予定表

1	日	永眠者記念礼拝式、墓前礼拝式	16	月	
2	月		17	火	
3	火		18	水	
4	水		19	木	祈祷会
5	木	祈祷会	20	金	
6	金		21	土	
7	土		22	日	礼拝式
8	日	礼拝式(聖餐式)、教会役員会	23	月	(勤労感謝の日)
9	月		24	火	
10	火		25	水	
11	水		26	木	祈祷会
12	木	祈祷会	27	金	
13	金		28	土	
14	土		29	日	礼拝式、教会の清掃日
15	日	礼拝式	30	月	

11月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

今月号は、再度の礼拝再開のニュースを中心にお伝えしました。例年でしたら秋は多くの行事があり、報告をどう詰めるか嬉しい悲鳴でしたが、今年はすべての行事が中止になり、毎月あった証しもなくなり、休刊した方がという気持ちにもなりました。

けれど、みことばの配信やウェブ礼拝など、目立たないことでもこのコロナの時だからやっていることに焦点を当てると、ひと月ひと月、月報が繋がっていった感じです。また、月報委員のお願いに答えて原稿を寄せてくださったみなさんのおかげでもあります。繋がりが分かち合う事に月報が少しでもお役に立てるなら幸いです。

教会月報

2020年11月

No.354

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

主による鍛錬

「信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。このイエスは、ご自身の前にある喜びを捨て、恥をもちとわなないで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右にお座りになったのです。」

ヘブライ人への手紙 12章2節

11月の第一聖日は、聖徒の日です。先に眠りにつかれた聖徒を偲び、永眠者を記念した主日礼拝式を捧げます。故人の遺影を毎年眺めながら、在りし日に過ごした教会生活を思い返します。教会の修養会でのエピソード、皆さんで和やかな話し合いに、席上、エキサイトした長老の発言に講師もたじたじであったことがありました。これも思い出の一つです。また、時に「祈祷会」において、信仰の教義について神学論争になりました。時には、信仰の先輩が信仰生活の極意を伝授されていた時のことが懐かしく思い返される時でもあります。

さて、キリスト者には負わされた使命が存在します。それはイエスによって与えられた恵みと我々の罪を十字架上で肉を裂き、血潮を流して罪を赦して下さった愛にこたえるべきものです。

競争や競技では皆が一番になれません。一番になれるように努力するのは。信仰の世界では一番を競い合いませんが、信仰生活を完走するためには忍耐強く走りぬく姿勢が大切です。

イエス様の歩みをつぶさに見る時、信仰の導き手であり、完成者としてのイエス様を見続けながら、走り続けたいものであります。

牧師 永松 清



コロナ禍で時が止まったようだった。久しぶりに教会堂で主を讃美する喜び、より一層神が共におられることを実感した。聖霊が燦々と降り注ぐようでもあった。思い煩う現実、解き放たれたようでもあった。神による平和、安らぎがあった。これからも教会生活を守っていききたい。 K.E.姉

偽痛風で緊急入院した母は治療とリハビリで2ヶ月間を過ごしました。その間に顔つきも身体も病人になってしまいましたが、家に帰るとその日から元気になり杖歩行ができました。この歳での快復力にお医者さんもびっくりしていました。皆さんのお祈りを感謝します。10月4日久しぶりに母と礼拝に参加できて、感謝です。 E.F.姉

CS 高校生科

日曜日の9時から9時30分まで新約聖書を使ってやっています。(編注: オンラインで土居兄と) 最近、どのように証しするかは父の霊(マタイ福音書10章20節)によってできるということを学びました。印象に残ったことは「人にしてもらいたいことは何でも、あなたがたも人にしなさい」ということです。(K.Y.・高校2年生)

CS 幼稚科、小学科

現在休校中。状況を見て再開します。(永松牧師)

CS 成人科

9月27日から通常礼拝になったと同時に、以前の顔ぶれが揃っての学びが再開しました。もちろん、マスク着用・距離をとって着席。10月からテキスト「希望」が秋号になって、ローマの信徒への手紙の学びです (D.T.)

女性会

コロナ禍の中ですけど、女性会は9月10月と例会をもつことができました。9月は、連合女性会への回答事項について活発に話し合い、10月は、なかなかお会いできない会員に葉書をお送りしました。短時間の集まりですので、どうぞご参加くださいますようお願いいたします。(青木恵美子師)

9月27日より通常礼拝が再開となりました。10月4日の礼拝は聖餐式も執り行われ、24名の参加となりました。YouTube 配信にも4名の視聴がありました。東京に引っ越したばかりのE姉も視聴され、「岡山のみなさんが近くに居ると感じます。」とのこと。礼拝は感染対策をとり、短く行うことを心がけました。

メッセージから、救いは恵みであることを体験したにもかかわらず律法(行い)によって救われると迷い勘違いをおこしてしまったガラテヤの人々の姿を我が身に重ね、改めて一方的な神様の恵みを受けていることに感謝しました。

礼拝前も礼拝後も「お久しぶり!」の言葉が飛び交い、懐かしさと、共に集える喜びを感じた日曜日でした。

しばらく会えなかった方の近況や感想を、また成人科、高校生科、女性会の様子もお伝えします。

運転免許更新の予定でいた8月。私の意に反し家族の反対が強くなり免許返納を致しました。“後期高齢者”と云われると一番弱いところで、相次いだ高齢者の交通事故のニュースを見ると、家族としては他人事ではなかったようです。

そして、バスを利用しての一週間目の聖日!!

礼拝を終え、帰りのバス停へ。バス発車時刻の確認もせず、歩くこと約10分。ところが何と!! 発車迄には40分余の待ち時間です。行きは行きで降バス停の確認もせず教会までの遠かったこと!! 車の有難さを思い、あまりの疲労に泣きたい思いでした。

しかし気分一転!! 健康は脚から!! 今からスタート頑張らないと!! と思い直しました。雨が降ったら? 寒くなったら? そんな事を考える必要はないのです。全てを神様に“おゆだね”しておけば…。

R.K.姉



10月18日(日)礼拝後、M.O.兄夫人・故K姉の召天記念会がご親族3名と教会員14名が出席して行われました。M兄と、ご長男のお嫁さんからご挨拶がありました。



挨拶をするO兄

CLC 閉店

禁酒会館1階のCLC書店が、閉店することになりました。岡山唯一のキリスト教専門書店でした。今後のことを含めお祈りください。以下の挨拶状が教会に届いて居ます。



新店舗へ移行のお知らせ

頌主

いつもご利用を頂きまして、有り難うございます。CLCブックス岡山店は12月5日をもって、閉店することになりましたが、個人経営のキリスト教書店として新たに発足することが決定致しました。とはいえ、大変に厳しい経済状況での運営になることはあきらかですので、どうぞこれからも皆様のご協力、ご利用の程、宜しくお願い致します。なお、カタログでのクリスマス用品、カレンダー等のご注文に関しましては、11月に入りましたら、仕入れ数を調整しながらになりますので、皆さまのご希望に添うためにも10月31日までお願い致します。また、商品によりましては結束などの関係から、ご注文の変更をお願いすることもありますので、ご理解・ご協力の程、宜しくお願い致します。また、新店舗の営業日など詳しいことにつきましては、後日、ご挨拶とご連絡を差し上げますので、お待ちくださいませ。皆さまの上に主の祝福とお守りをお祈りいたします。